

# 千葉大学 大学院教育学研究科学位論文の審査基準

## 【学校教育学専攻】

(教育発達支援系)

修士学位論文は、「教育（教育心理学、発達心理科学、保育・幼児教育、特別支援教育、ヘルスプロモーション、養護教育に関する領域）」に関連する内容で、普遍性、論証性、有用性などの学術的価値が含まれ、本専攻にふさわしい専門性にもとづく研究であること、学術研究における倫理性を有していることが必要とされる。

(横断型授業づくり系)

修士学位論文は、「教育（カリキュラム開発、従来の枠にとらわれない授業づくり、教育の社会的・実的事象、教育の哲学的考察）」に関連する内容で、普遍性、論証性、有用性などの学術的価値が含まれ、本専攻にふさわしい専門性にもとづく研究であること、学術研究における倫理性を有していることが必要とされる。

(言語・社会系)

修士学位論文は、「教育（国語教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育）」に関連する内容で、普遍性、論証性、有用性などの学術的価値が含まれ、本専攻にふさわしい専門性にもとづく研究であること、学術研究における倫理性を有していることが必要とされる。

(理数・技術系)

修士学位論文は、「教育（理科教育、数学教育、技術教育）」に関連する内容で、論証性、有用性などの学術的価値が含まれ、本専攻にふさわしい専門性にもとづく研究であること、学術研究における倫理性を有していることが必要とされる。

(芸術・体育系)

修士学位論文は、「教育（音楽教育、美術教育、保健体育）」に関連する内容で、普遍性、論証性、有用性などの学術的価値が含まれ、本専攻にふさわしい専門性にもとづく研究であること、学術研究における倫理性を有していることが必要とされる。

・審査の視点（学校教育学専攻共通）

- ① 研究テーマは、広く教育に関わる現象の中から設定されている。
- ② 研究目的を明らかにするための方法が当該学問分野において妥当なものである。
- ③ 研究におけるデータや資料の収集とその分析が適切になされている。
- ④ 研究の考察と結論には論理性があり、学術的な水準に達している。
- ⑤ 学術論文として表現や形式が適切である。
- ⑥ 研究の計画、資料の利用や調査、発表、データの保管など研究の全過程を通して、倫理的配慮がなされている。

・論文等の審査、方法等（学校教育学専攻共通）

研究科委員会の指名した審査委員が、教育学研究科学位論文審査基準に従って行う。審査委員は、研究指導教員1名及び論文等の内容に関連する分野の教員2名以上とする。なお、修了するための要件は、論文等の審査のみではなく、最終試験に合格しなければならない。最終試験は論文等を中心として、これに関連ある事項について口頭又は筆答により行う。